

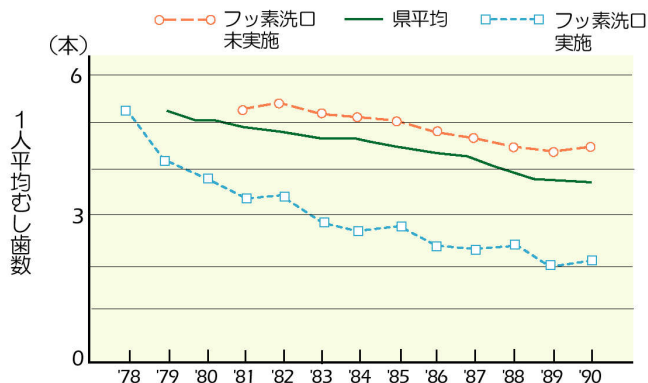
# フッ素予防で丈夫な 歯

フッ素を使って歯の質を強化し、むし歯を予防する方法が注目されています。店頭に並ぶハミガキにも“フッ素入り”が増えていきます。

新潟県では、『むし歯半減10カ年運動』に県民総ぐるみで取り組み、着実な成果を収めてきました。その予防運動に大きく貢献したのが『フッ素による予防と歯質強化』です。

下の図は、12歳児の一人あたりの平均むし歯数について、フッ素洗口（フッ素によるむし歯予防の一種）を保育所から小学校まで長期間実施している市町村と、実施していない市町村、新潟県の平均の3つを経年的に比較したものです。

県平均3.7本、未実施4.5本に対し、長期間実施した市町村2.1本と、大きな差が認められます。



フッ素洗口長期実施市町村と未実施市町村の1人平均むし歯数

## Q. フッ素は安全？

**A.** フッ素洗口液は、1回分の全量を飲み込んで安全な量に処方されています。園児（体重20kg）の場合、フッ化ナトリウム濃度0.05%の洗口液を25人分以上一度に飲まない限り、急性中毒は起こり得ないことがわかっています。

## フッ素洗口法

フッ素洗口法とは、低濃度のフッ素溶液を少量口に含み、ブクブクうがいをする方法です。永久歯に生えかわる4～5歳から始めると予防効果が高くなります。永久歯が生え揃うまで根気よく続けましょう。



がんばって  
続けましょう！

フッ素で  
ブクブク

# KOMIYA DENTAL NEWSLETTER

## 2002年 2月号



### はたして むし歯は治るもの???

いいえ、「むし歯はならないようにする」もの

私たちは、ふだん何気なく「むし歯を治す」と言います。この表現をおかしいと思われたことはありませんか？

何故かという、風邪や胃腸炎などのお医者さんで診てもらった病気は、安静にして薬を飲むと元の健康な状態が戻り「治った」ことになり、でも歯は、むし歯とわかると病気の部分をとにかく削り、そこに詰め物や被せ物で人工的な処置をします。これは正確に言うと、「治した」のであって「治った」ではありません。

という訳で、歯は治療したらもう本当の意味で「元に戻る」ことはありません。そこで私たちは天然の歯の素晴らしいさをいつまでも味わっていただきたいと、開業時から『予防』を中心にすえた治療を目標にできるだけ歯を残す努力をしてきました。最近ようやくその考え方が世の中に浸透してきて、当院もさらに一歩進んでシステム化するに至りました。

むし歯は、かかり始めの頃に発見すれば削る部分を少なくして、適切なブラークコントロールやフッ素利用などで歯の最石灰化を促し進行を抑えることができます。

当院は、このようなミニマルインターベンションという考え方を大切に治療を行っています。

毎月保険証の提示に御協力頂きありがとうございます。  
このニューズレターは当院のオリジナルで毎月発行しています。

## ☆ 診療日変更のお知らせ ☆

3月20日(水)～24日(日)・・・ 連休します



〒125-0041 葛飾区東金町1-45-2 ハヤシ駅前ビル2F

☎ 03-5699-8888